

【平成 27 年 11 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

静岡県商工会連合会

静岡県商工会連合会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 27 年 11 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

記

1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 27 年 11 月 30 日
- (2) 調査対象 県下 38 商工会（うち 38 商工会より回答）【回収率 100%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）**【11 月期の産業全体の業況 DI は全業種で好転】**

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-19.1（前月-31.3、前年同月-34.2）で、前月と比べ 12.2pt 好転した。10 業種中全業種で好転を示した。建設業では、リフォーム工事が増加であった事、サービス業では、旅館の売上が前年に比べ伸びている事や飲食店が前年並みもしくは好調であった事が好転の一因と考えられている。

【製造業】

業況は-10.6（前月-15.4、前年同月-21.1）と前月と比べ 4.8pt 好転した。食料品製造業では、野菜単価の下落により、仕入れ単価が良くなっているとの声が聞かれた。機械金属製造業では、前月に比べ受注が増えてきているとの声が聞かれた。また、石油単価の下落により、燃料費等経費が減少したとの声も聞かれた。

【建設業】

業況は-13.2（前月-39.0、前年同月-28.9）と前月と比べ 25.8pt 好転した。公共工事に関しては地域によりバラつきがあるが、住宅等の新設が続いているとの声があった。測量関連の受注が増加、橋の耐震補強工事の仕事が増加したとの声があった。

【小売業】

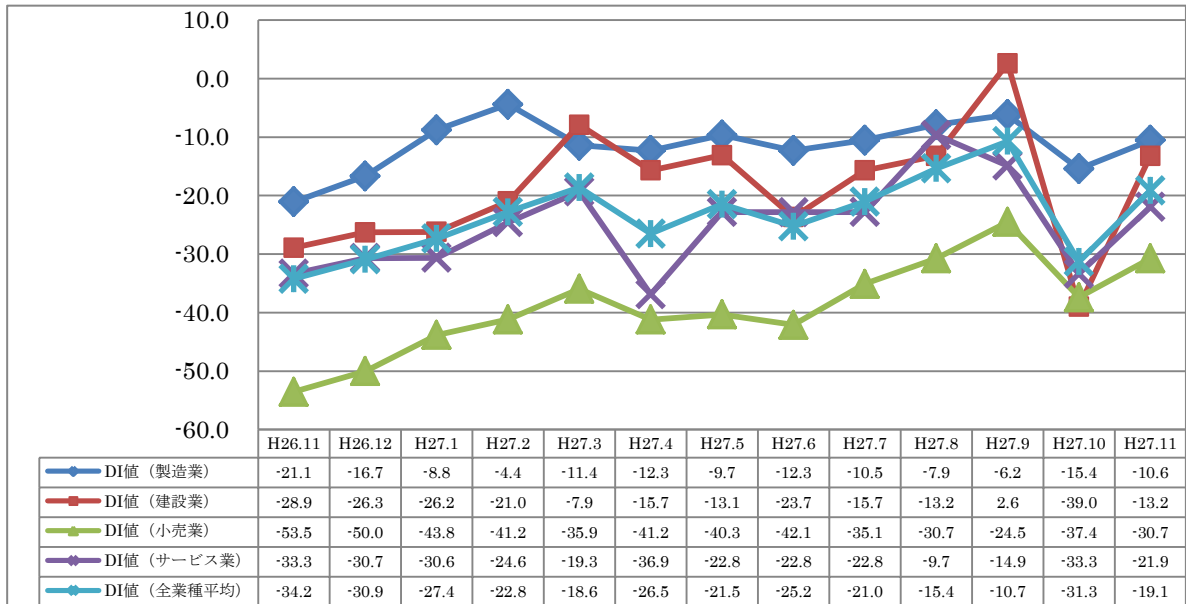
業況は-30.7（前月-37.4、前年同月-53.5）と前月と比べ 6.7pt 好転した。各業種の業況 DI も好転した。食料品については、ふるさと納税の対象商品を取り扱っており、予想以上の受注があるとの声があった。耐久消費財については、11 月後半より暖房機器の動きが出始めているとの声があった。

【サービス業】

業況は-21.9（前月-33.3、前年同月-33.3）と前月と比べ 11.4pt 好転した。旅館業では、地域によりバラつきがあるが、これまで赤字であった旅館が利益が出る様になり黒字に転換したとの声や、紅葉前線が鈍化し紅葉を目当てにしている観光客は若干減少との声があった。洗濯業では、冬物の依頼が徐々に出ているとの声があった。

3 本調査に関するお問合せ 静岡県商工会連合会経営管理課 ☎054-255-8080〔担当：池谷、吉本〕

＜平成 27 年 11 月期 業種別業況 DI 推移表＞



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属製造業)

- ・中国経済の停滞感から輸出関連企業の業績見通しに不透明感が出てきた。年明け以降に影響が現実化する可能性あり。(富士駿東)
- ・来年分の受注に向けて動いている事業所も多いが、設備投資を積極的に行う事業所は少ない。(中部)
- ・仕事はあるが、単価が安く、そのため、借入金及び利息返済、諸経費の増加、人件費の支払いなどにより利益があがらない。(中東遠)
- ・11月に市内の最先端企業3社と一緒に名古屋メッセに出展した。大勢の人で賑わい、特にトヨタ系の企業の方が展示ブースに来られた。(西遠)

【建設業】

- ・建売は上昇みだが、注文住宅は殆どない状況である。(伊豆)
- ・人材不足が顕著である。また機材も不足しており中古機材の価格も高騰している。(中部)
- ・住宅関係はハウスメーカーに押されながらも下請や改装工事が多い。(中部)
- ・昔からの付き合いやリフォーム工事が主で、新規の仕事は殆どない。(中東遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・11月下旬から急激に気温が低下し衣料関係の売上が微増した。(富士駿東)
- ・顧客の高齢化が進み、その家族に来店してもらえる様工夫が必要。(中部)
- ・大型店の進出で、地元資本の商店は大変である。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・小グループの外国人観光客の利用がある。(伊豆)
- ・クリーニングを出す周期が長くなっている感がある。(中部)
- ・理美容で、低料金のお店が増え心配である。(西遠)

小規模企業景気動向調査(平成 27 年 11 月期)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-15.8	-24.4	好転
売上	5.3	-22.0	増加
仕入単価	26.3	14.7	上昇
採算	-7.9	-24.4	好転
資金繰り	-10.5	-21.9	好転

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-13.2	-17.0	好転
売上	-15.8	-12.2	減少
仕入単価	2.7	0.0	上昇
採算	-7.9	-17.1	好転
資金繰り	-7.9	-14.6	好転

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-2.7	-4.9	好転
売上	13.2	-0.1	増加
仕入単価	23.7	4.9	上昇
採算	0.0	-7.3	好転
資金繰り	-5.3	-14.7	好転

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-13.2	-39.0	好転
売上	-5.3	-29.2	増加
仕入単価	26.3	7.4	上昇
採算	-5.2	-34.2	好転
資金繰り	-15.8	-29.3	好転

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-31.6	-41.5	好転
売上	-36.8	-41.5	増加
仕入単価	15.8	-2.5	上昇
採算	-21.0	-34.2	好転
資金繰り	-26.3	-34.1	好転

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-31.6	-39.0	好転
売上	-10.5	-36.6	増加
仕入単価	29.0	12.2	上昇
採算	-23.7	-36.5	好転
資金繰り	-23.7	-34.1	好転

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-29.0	-31.7	好転
売上	-15.8	-26.9	増加
仕入単価	26.3	-4.9	上昇
採算	-15.8	-26.8	好転
資金繰り	-13.2	-26.8	好転

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-18.4	-31.7	好転
売上	-7.9	-22.0	増加
仕入単価	18.5	2.5	上昇
採算	-18.4	-26.9	好転
資金繰り	-23.7	-24.4	好転

9.洗濯業

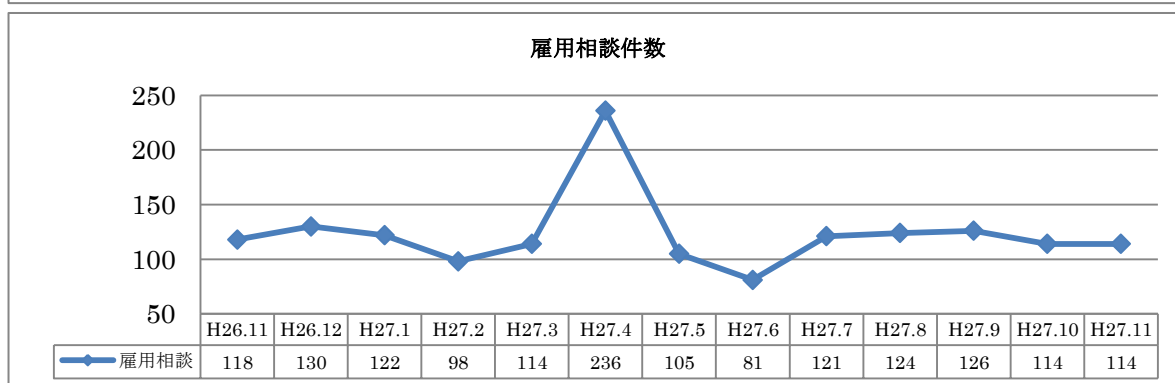
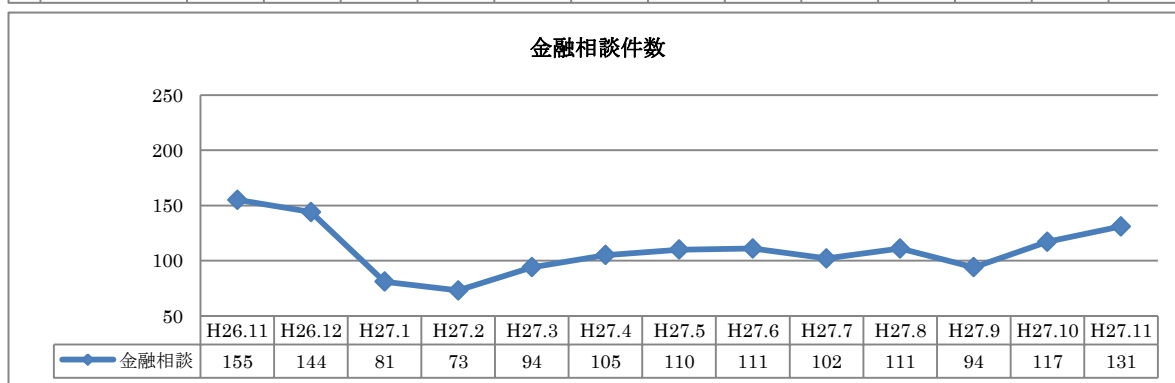
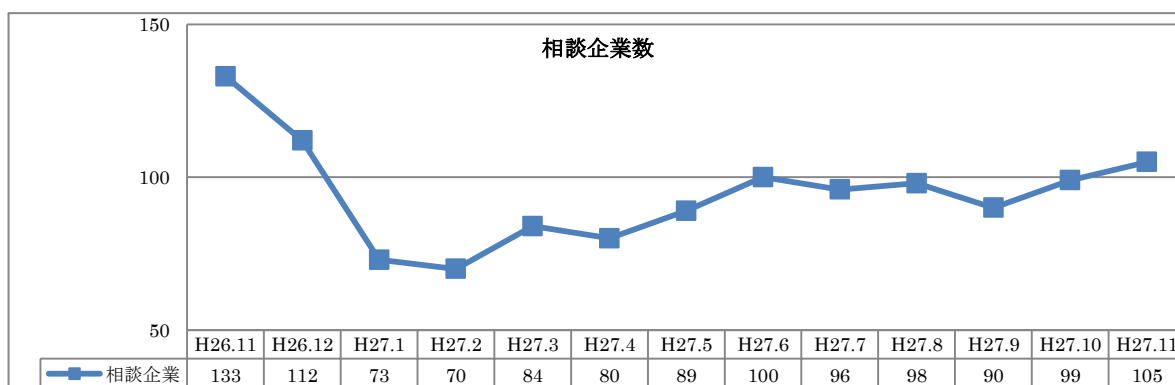
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-29.0	-36.5	好転
売上	-18.4	-34.1	増加
仕入単価	15.8	2.4	上昇
採算	-7.9	-26.9	好転
資金繰り	-10.5	-24.4	好転

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-18.4	-31.8	好転
売上	-7.9	-34.1	増加
仕入単価	5.3	2.4	上昇
採算	-7.9	-29.3	好転
資金繰り	-7.9	-22.0	好転

金融・雇用相談実績月次報告(平成 27 年 11 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	105	99	6
【金融相談件数】	131	117	14
新規融資（借換えを除く）	80	61	19
既存債務の借換え	49	41	8
借入れ条件変更	1	5	-4
消費者金融・商工ローン関連	0	4	-4
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	1	6	-5
【雇用相談件数】	114	114	0



【金融相談】

金融相談件数は、131件と前月(117件)に比べ14件増加した。相談内容については、借入れ条件変更、消費者金融・商工ローン関連、その他が減少し、新規融資(借換えを除く)、既存債務の借換えが増加した。

<経営指導員コメント>

- ・マル経での設備資金に対応した。(伊豆)
- ・年末を見越して、運転資金借入が増加(マル経1,000万円の申し込み2件)。(中部)
- ・公庫相談を実施したが金融需要は相変わらず低調であった。(中部)
- ・消費者の財布のひもが固く、売上が停滞していることから、販売計画に悪雲が立ち込めている様な状況等に対応する資金需要が殆どで、新規投資的な需要は表れてこない。(西遠)
- ・年末に向けて、借換への相談が増えてきている。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、114件と前月(114件)に比べ増減は無かった。離職に関する手続き等、雇用保険の取得と喪失の相談、労災給付請求に関する相談があった。サービス業で人手不足が深刻化しているとの地域があった。

<経営指導員コメント>

- ・今月の雇用の相談は離職に関する相談が4件、新規採用の相談は1件だった。景気上向きになっていると言いながらも離職者が目立つ。(富士駿東)
- ・人材不足に苦慮する事業所が外国人労働者(外国人研修生)の採用も検討し始めている。(中部)
- ・65歳以上の雇用に関する助成金の相談が増えてきた。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・月1回定期的に開催されているマルシェが1年経過したが、定期的な宣伝効果により来場者が増加してきた。(中部)
- ・毎年、学生向けに企業求人説明会を開催しているが、参加する学生は年々減少気味。就職活動開始時期が4月→8月→6月と変わる中で、主催者側もどう対応していくか検討していかなければならない。(中東遠)
- ・11月29日に開催した青年部主催の婚活事業“ええら森婚”では、参加者が男女41名ずつで、カップル13組が誕生し盛況であった。(中東遠)
- ・来年1月から始まる観光協会事業「牡蠣小屋」に関するPRを始めた。昨年は20,000人弱(3ヶ月)の来場者があり、閑散期における誘客について効果がある為、引き続き対応していく。(西遠)